

国際ロータリー第2730地区

高鍋ロータリークラブ 会報



会長 藤本 範行
副会長 松尾 正博
幹事 中武 泰一郎
例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
例会場 ホテル泉屋 2F
事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋1368-4
ホテル泉屋内 TEL/FAX 0983-21-1636

第1929回 平成28年5月26日プログラム

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 点 鐘 | 7. BOX披露 |
| 2. ロータリーソング | 8. 各委員会報告 |
| それこそロータリー | 9. 創立40周年反省会 |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 10. 次週例会案内 |
| 4. 会長の時間 | 11. 点 鐘 |
| 5. 幹事報告 | 12. |
| 6. 出席報告 | |

2730地区ガバナー 野中 玄雄

中部分区ガバナー補佐 橋口 正樹
RIテーマ 『世界へのプレゼントになろう』
第2730地区テーマ 『奉仕は力！活かそう例会』
高鍋ロータリークラブテーマ
『創立40周年へのプレゼントになろう』
5月の月間テーマ
青少年奉仕月間

本日の例会案内

- *創立40周年記念大会反省会
- *100万ドル

次週例会案内；6月2日（1930回） *米山ランチ

- *月初めのセレモニー *雑誌紹介
- *クラブ研修 *地区研修協議会報告 *理事会

第1928回 例会内容

■会長の時間

会長 藤本範行君

皆さんこんにちは。
森さんには、いつもありがとうございます。12時過ぎから食事をするようになってから演奏時間も倍くらい長くなりましていつもご苦勞をいただいています。今日も森さんの演奏で童謡を楽しく歌いました。



この『シャボン玉』を作詞したのは皆さんもよくご存知の野口雨情です。大正11年に発表したものです。

野口雨情は、明治15年（1882）茨城県の名家に生まれています。少年時代より文学的素養に富み、現在の早稲田大学の前身である東京専門学校高等予科文学科に入学し、坪内逍遙の薫陶を受けましたが、1年余りで中退しています。詩人としてのスタートは、不運と失意の繰り返しでした。大正にはいつから童謡・民謡詩人としての活躍が目立つようになり、童謡集や詩集に数々の作品を発表しました。

有名な作品としては、『枯れすすき』（のちの船頭小唄）『七つの子』『赤い靴』『青い目の人形』『あの町この町』『雨ふりお月さん』『兎のダンス』など私たちが口ずさ

んできた童謡が沢山あります。

作曲家の本居長世や中山晋平などが雨情の詩作に最適な曲譜を付けたことも幸運でした。昭和初期から民謡にも情熱を傾け、全国各地の民謡を数多く残しています。戦前の昭和10年に日本民謡協会を設立して理事長となっています（53歳）このころから全国各地への童謡・民謡普及のための講演旅行が多くなりその足跡は国内のみならず当時の台湾・朝鮮・満州にまで及んでいます。戦争中に病に倒れ、疎開先の宇都宮で20年（1945）に永眠、63歳であった。

先週、例会で無事成功裡に終わった創立40周年記念大会について、お礼を申し上げました。出席者へのお土産【百年の孤独】について付け加えておきます。どこの記念大会のお土産よりも値打ちのある貴重なお土産を、黒木実行委員長に準備していただきました。

前回の30周年も同じお土産でしたから、平山さんによりますと、ひそかに期待して参加される方もいらっしゃるかと聞いていました。なにも知らずに参加された方は、お帰りになってから、開けてびっくり玉手箱ならぬ焼酎【百年の孤独】に驚き大変喜ばれたようです。

50周年記念大会は、もしも私がまだ生きておまして、平山先輩や石井先生のように元気でしたら、ひよっとすると私が実行委員長かもしれません。

黒木君、その時もよろしくお願いしますよ。（笑）

■幹事報告<文書案内>

- *佐土原ロータリークラブより6月の例会案内
- *西都ロータリークラブより6月の例会案内
- *6月のロータリーレート
1ドル=110円
- *地区研修協議会のお礼

幹事 中武泰一郎君



☆ロータリー青少年指導者養成研修会報告 (ライラ)

青少年委員長 曾我部幸夫君

去る4月10日(日)に開催された青少年指導者養成研修会にここに居る4名の好青年と参加させて頂きました。テーマは「人間力アップ」でした。日曜開催だったのでデートとか遊びの予定もあっただろうと思い、「折角の休みの日なのに参加してもらって



ゴメンね」と言うのと、4人が4人共「素晴らしい勉強会に参加させていただいてありがとうございます」と返してくれました。流石、黒木本店と九州電力の社員だなあと関心したと同時に、ウチのスタッフだったらどう返事するかとも思いました。それでは紹介させて頂きます。

黒木本店の高橋要一(タカハシヨウイチ)君、長田直己(ナガタナオキ)君、九州電力高鍋営業所の十時翔太(トトキショウタ)君、丸尾隆博(マルオタカヒロ)君です。「人間力アップ」に関しては、この4名が話してくれると思いますので、同時に企画されていた延岡歴史探索ウォークに関して少しだけ話させて頂きます。

延岡市指定文化財となっている内藤記念館を含む城山公園をに行きました。記念館ではボランティアの語り手の方が説明して下さいましたが、歴史の苦手な自分には始めて聞くコトばかりで、あまり頭に入りませんでした。

その後も、公園に向いながら歴史の説明を受けるのですが、雨が強くなり中止になり、広場で食べる予定だったお弁当も、講習会場に戻って食べるコトとなりました。講習会が終わる頃には雨もやみ、窓から桜の散ってる様が見れました。

今回、この4人と参加できてよかったのですが、1つだけ希望を言わせていただければ、前日に延岡入し、懇親会を経て、このプログラムに参加できれば、もっと良かったと思いました。

■BOX披露

親睦活動委員会 岩切洋君

<ニコニコ・財団・米山BOX>

藤本範行君 ライラに参加して下さった九電のお二人と黒木本店のお二人に感謝しますライラの報告も宜しくお願致します。



橋口清和君 誕生祝のお返しと

して。MRT土曜日23:00より放送の「堺正章の新チューボーですよ」のエンディングテーマソングを息子靖正が歌っています。夜中起きている方は耳を澄ましてください。

木村貞夫君 第33代会長として創立40周年記念大会で感謝状を頂きありがとうございます。

■出席報告

出席副委員長 向山健一君

出席状況 (5/19)

会員数	45名
出席会員数	36名
ホーム出席率	80.00%
前々回修正出席率	88.89%



☆歴代会長感謝状授与



☆ロータリー青少年指導者養成研修会報告 (ライラ)

黒木本店 高橋要一君

4月10日、日曜日、延岡社会教育センターにて、『人間力アップ』というテーマでのセミナーに参加させていただきました。

午前中は内藤記念館、延岡城跡の歴史探訪にて延岡の歴史について学ばせていただきました。午後からは講師の工藤智徳氏にコミュニケーションアップについて講義していただきました。工藤氏がまず言われたのは『応答しなさい』ということ。伝えたことに対して何らかの反応を示すということはコミュニケーションの第一歩なんだと!次に『しっかりと聞く』ということ。お互いの意見を評価的、批判的に聞かず、意見の相違は、己の見識を広めるチャンスと捉え受け止めること。その重要さについてお話されました。その後グループワークにはいりました。

あるテーマについてグループで討議し、答えを出すというものです。討議中はもちろん価値観の違いから意見



石井君がデザインした延岡東RCのバナー

が分かります。そこで重要なのが先ほどお話した『しっかりと聞く』ということです。しっかりと聞くということは、『受け容れる』ということ。私たちの職場や家庭でも毎日のように組織としての意思決定の場が何度も訪れます。そこでこの『相手を受け容れる』という姿勢こそが、良い環境を育むんだと実感いたしました。このグループワークを通して私自身【自分を出しすぎる・協調性に欠ける】という欠点に気が付きました。会社組織のチームワーク向上のためにも肯定する姿勢を常に忘れず実践してまいります。

話は変わりますが、グループワーク中に工藤氏が『20分でグループとしての答えを出してください』と言われました。私のグループは討議に熱中しており、あっという間に20分が経過しました。まだグループとしての答えは出ておりません。すると工藤氏は『これが仕事だったら大変だよ。提出期限を守れないのと一緒に信用も崩れますよ』と・・・私はハッとしました。熱中するあまりタイムキーパーを怠ったのです。たかが討議の時間ではなく、期限のある集中した討議の方が質が高いのです。時間管理の重要性についても学ばせていただいた内容でした。

私が気が付いたことを述べさせていただきます。

研修当日私は一時間早く会場に到着し、最前列に座っていました。後から来られる受講生は後ろから席に座っていきます。また、筆記用具を持参してこない方が目につきました。ロータリークラブの皆様が朝早く準備してください、また講師の方も熱意あるお話をしてくださいました。そして私たちは各職場の先輩方から『行って来い!』と学びの機会をいただいているわけです。そんな私たちはそんな熱い想いに答えなくてはならないのでしょうか。勉強させていただくという気概を持って研修に臨むべきだと感じました。ではどうするかと言いましても、そこはまた各々の職場の先輩方やロータリークラブの皆様のお力添えをいただき成長できればと思っております。

最後になりますが今回このような学びの場をいただき本当にありがとうございました。ここでの学びをしっかりと職場や家庭に持ち帰り実践できるよう努めてまいります。

☆ロータリー青少年指導者養成研修会報告（ライラ）

黒木本店 長田直己君

今回のテーマは「人間力アップ」でした。「人間力」とは「社会を構成し運営するとともに、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力のこと。

ロータリーでは「人間力」の基本を「奉仕」と考えている。自分の中で奉仕とはボランティアのみを指す言葉と思っていたのですが、必ずしもボランティアのみを指す言葉ではなく、日常生活での心からなる思いやり（英語ではサービス）を意味し、思いやりの心をいかに養い、いかにして発揮するかがロータリーの不変のテーマであると研修の開講式の時にご挨拶がありました。研修を受講してコミュニケーションがいかに大切なことか。人は物事に対して「受け取り方、感じ方」がさまざま

まです。自分と同じ意見の人もいればそうでない人もいる。それは育った環境が異なるからです。人の価値観や意見は人それぞれの体験や経験や考え方から成り立っています。社会人として自分の価値観や意見の違う職場や日常生活において相手の価値観や意見などを理解し「受け入れること」と「相手の意見に従うこと」は全く違うものです。また、「対話」とは相手の話していることを理解し、自分と相手の考えの背景を探求しながらお互いの意見を深めるためのコミュニケーションです。対話の本来の目的は、結論を出すことがすべてではなく、問題点を探求し、お互いの考えを深め合うことでもあると思います。そして、人間関係を円滑にするためには人からされて嫌なことはしない。人からされて嬉しいことを周囲の人にやっていくことが人間関係をうまく築いていけると思いました。

最後に、今回このような学びの場を与えてくださってありがとうございます。研修を通して学びだけではなく素直でいる 前向き思考 礼儀正しく 相手に敬意を払う 相手の立場になって考える話すを2割、聞くを8割（二八の法則） 成長し続けること。また、「出会った人すべてから何かを学べる人こそ世の中で最も賢い」という言葉もあります。これからの日常生活、職場において人との出会い、関係を大切に、目標（ビジョン）に向かって団結して取り組んでいけるように学び続けていきます。

☆ロータリー青少年指導者養成研修会報告（ライラ）

九州電力高鍋営業所 十時翔太君

この度は、ライラのコミュニケーション向上研修にこの高鍋ロータリークラブより代表して参加させていただきまして誠にありがとうございました。

コミュニケーション向上研修では、若手を中心に様々な地域から集まった年齢、性別、人となり、職業等も異なる人がグループワークを通して考えをまとめ、発表するという内容でした。また、その答えをまとめる過程で人の意見や価値観を共有し話し合う中で、コミュニケーション力を向上させていくというものでした。

非常に難しかったというのが率直な感想です。ただそれだけ自分たちにコミュニケーション力が不足しているということを痛感することが出来ました。

今回の研修で、コミュニケーション力を向上させるには次の3つのステップが必要であると学びました。

1. 相手に興味を持ち、自ら積極的に行動すること
2. 相手の価値観や考えを知り学ぶ事で受け入れること
3. 相手との共通点を探し、考えを共有すること

私自身、仕事上、年上の方と接することが多いのですが、様々な価値観や考えに触れ、学ぶ事で人としても成長できたと感じています。つまり、コミュニケーション力を向上させるということは、人間力を向上させることに繋がると思います。

また、信頼関係を構築する手段もコミュニケーションから始まると考えます。私の父の言葉で「人から何かし

らしてもらったら、感謝の気持ちを伝えてその倍のことをするように普段から心がける」と小さな頃から言われていたのを思い出します。このような一つ一つの積み重ね（コミュニケーションの積み重ね）により信頼関係の構築につながるのだと思います。

一つ残念だったのは、グループワークの際、上司から言われ嫌々ライラの研修に参加しておられ、話し合いにも参加せず、グループワークですので皆に迷惑がかかるということがありました。

コミュニケーションが上手くいかなかった経験として、私自身も社会人になった当初は、苦手な上司との飲み会は遠慮しがちだったのを覚えています。苦手な上司であっても自分にはない別の価値観があるから学ばないと損だと考えるようになって良い人間関係が作れたとい経験もあります。つまり、何よりも大切なことは「まずライラのような場に自ら自主的（嫌々ではなく）に参加すること、また、人の話を素直な気持ちで傾聴することが一番である」と感じました。

今後このような機会に積極的に参加し、また周りに共有し、時に巻き込みよい影響を与えることができる人間に成長していきたいと思ひます。

☆ロータリー青少年指導者養成研修会報告（ライラ）

九州電力高鍋営業所 丸尾隆博君

国際ロータリー第 2730 地区宮崎県北部・中部分区合同青少年指導者養成研修会（ライラ）延岡東ロータリークラブ主催→若き有望なるリーダーの育成を目的にロータリアンの方が指導

1. ロータリーとは？

- ・ロータリー＝簡単に言えばボランティア、奉仕活動
- ・奉仕活動＝社会や他人のために利害を離れて尽くす事
- ・ロータリーでの奉仕とは？ 相手を尊重し思いやる

今回人間力アップというテーマのもと、ロータリーが開催された訳であるが、個人的に私が人間力について感じたことを過去の経験から伝える。

2. 学生時代 ボランティア活動に対するの考え方

何も意識せずただ作業するような感じ。

私がすることでどのような影響があり、周りがどのように感じ、どのように成長するか？

ライラに参加したことで学ぶことが出来た。

3. 当日の感想

午前：延岡の町や歴史を知り、感じることで、探訪ワークを実施。延岡に訪れたことがなかったため、様々な歴史を知ることが出来た。

午後：講師の講話。グループワーク等を受講

相手からの問いかけに対してできる、できないかを求めているのではなく、応答するという求めている。講師の「応答しなさい」という言葉が心の中に残った。

今回、初めてライラに参加して、全く知らない方とグループワークを実施したが、10代、20代、30代と幅広い

年代の方と交流が出来、また様々な意見や考え方を学ぶ事が出来たので非常に貴重な体験となった。

人は十人十色というように、様々な価値観をもっているため、今後、会社で職場の方と会話をするとき、積極的に聴く姿勢を大切にしていき吸収していきたいと思う。

4. 最後に資料に記載されていたフレーズ「出会ったものすべてから何かを学べる人こそ世の中で最も賢い人」から感じた事

5. 今後またこのような機会があれば成長の為にも参加してスキルをたかめていきたい。

黒木本店の高橋要一君、長田直己君
九州電力高鍋営業所の十時翔太君、丸尾隆博君



.....

現・新理事会&委員長会を開催のお知らせ

日時 6/2 (木) 現・新理事会 18:00~

現・新委員長会 18:30~

場所 ホテル泉屋 2階

6月の例会案内

- | | | |
|------|-------|------------------------------------|
| 6/2 | 1930回 | 月初めのセレモニー・雑誌紹介
クラブ研修・地区協議会報告 |
| 6/9 | 1931回 | 外部卓話・血圧測定 |
| 6/16 | 1932回 | クラブ協議会（年間報告） |
| 6/23 | 1933回 | クラブ協議会（年間報告）
100万ドル・次年度プログラム委員会 |
| 6/30 | 1934回 | 夜間例会 本年度最終例会
三役退任あいさつ |